

はる なつ あき ふゆ

2024

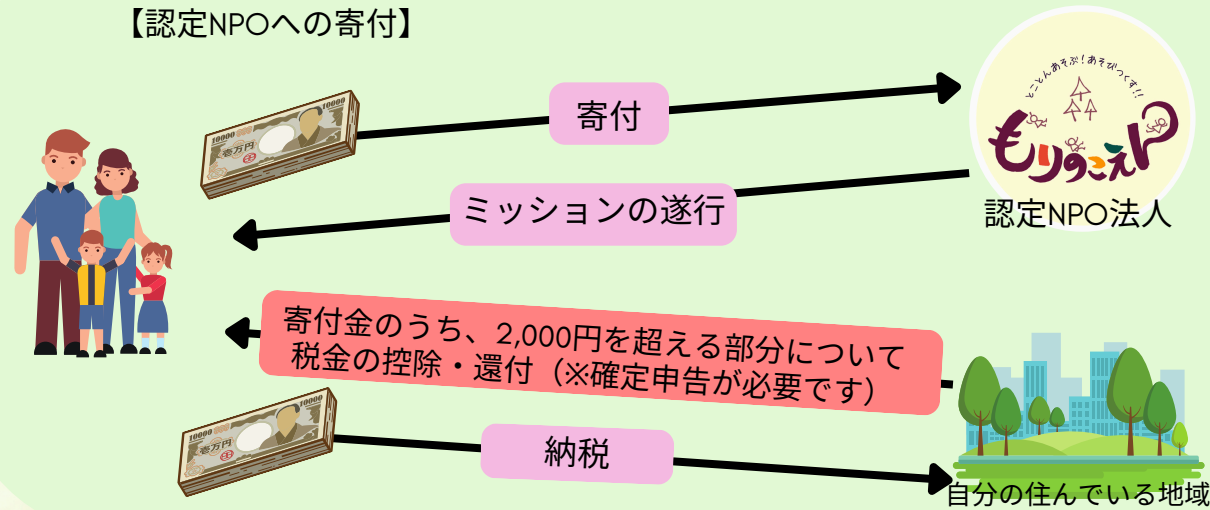
もりのこえんへの寄付は税額控除の対象です

認定NPO法人になると、一般のNPO法人にはない4つの「税制優遇」が適用されます。それは「認定を受けた法人」だけでなく、「寄付をしてくれた方」に対しても大きな優遇があるのが特徴です。

認定NPOへの寄付は、

- ・「寄付していただいた個人の皆様」に対しても、寄付金控除、
 - ・「寄付していただいた企業・法人」にも、損金算入限度額の拡大、
- さらに
- ・「相続財産を寄付していただいた相続人」にも、寄付額分の非課税、というメリットがあるのです。

【認定NPOへの寄付】



寄付金のお願い

もりのこえんの活動の趣旨に賛同し、ご支援いただける方からの寄付を募集しています。もりのこえんはNPO法人です。NPOは、多くの方がその活動を支持しているということが、活動の源となり、その数が社会的信用となります。ひとりでも多くの皆様からの応援をお願いいたします！

ご寄付は右記の「寄付金申込フォーム」からお申し込みください。



右記QRコードの寄付金申込フォーム送信後、ご登録いただいたメールへの返信メールにて詳しいお支払方法をご案内いたします。

寄付金申込フォーム

☆金額について 目安として1口3,000円ですが、もりのこえんへの応援のお気持ちですので、おいくらでも結構です。

☆お支払い方法について 以下のいずれかの方法でご寄付をお願いします。

- ① 事務局へ現金を持参（事務局（山口市上天花町8-13）でお支払いください）
- ② クレジットカードでお支払い
- ③ 銀行口座へお振込み お振込先は、以下の銀行口座のいずれかとなります。
★中国労働金庫 山口支店 ★秋山信用金庫 湯田支店

montbell サポートカードに申し込んで もりのこえんを応援してください！

サポートカードは、モンベルクラブ会員さまがモンベルで商品をご購入いただく時、お支払金額3%相当のポイントがモンベルから「特定非営利活動法人もりのこえん」に寄付されるカードです。お支払金額に応じたポイントが会員さまに貯まるだけでなく、もりのこえんの活動を支援することができます。

下記の専用フォームからお申し込み下さい。

※年会費は1,500円です。すでにモンベルクラブにご入会いただいている方は、会員番号もご連絡ください。カードの切り替え手数料300円(税込)または300ポイントが必要です。



認定NPO法人もりのこえん

753-0891 山口市上天花町8-13
080-4263-7789
morinoko7789@gmail.com



もりのこえん 2023年度ニュース

もりのこえんまつり開催(11月)

アップcomingアスラクラフ祭り(12月)

テーマ「上天花町の魅力発信!!」

米作り(5/5-9月)

町内会と一緒に防災学習(7月)

町内会主催の防災学習に参加しました。

上天花町に笑顔があふれる1年となりました。

地域の先生とお茶をいただきました。

ひなまつり(3月)

グッドガバナンス認証を取得！(11月)

そしてついに認定NPO法人に!!(12月)

特定非営利活動法人もりのこえん 設立趣旨書

趣旨

日本人はかつて、自然と共存し、自然への畏敬の念を持って暮らしてきました。自然との共存の中では、家族が助け合い、地域の繋がりがなくては、生きていくことは出来ませんでした。

しかし、文明の発展と共に人々の暮らしは、自然とかけ離れた無駄のない清潔で便利なものとなり、地域の中の様々な問題は、専門家や行政の仕組みによって解決され、互いの喜び、憂いに思いを馳せる必要もなくなってしまいました。今、経済を優先させるがあまりに失われてしまったものに気づき、それらの価値に目を向ける時期に来ていると思います。

そこで私たちは以下のことを理念に掲げ、山口の恵まれた自然環境を利用し、今後は更に多くの子どもと、子どもの育ちに関わる人たちが、山口の自然に親しみ、多世代との交流を深められる機会を増やしていきたいと思っています。そのためには任意団体ではなく、より社会的信用の高い、公益を目的とする特定非営利活動法人の法人格を取得することが望ましいと考えています。

法人化することにより、山口に暮らす人たちが、未来に夢を持ち、誰もが尊重され、生きる喜びを感じられるまちになるよう活動を続けます。皆様の幅広い参加とご支援をお願いいたします。

(1) 子どもたちが自然の中で人間本来の力を発揮できるように導きます。

- どれだけたくさん与えるかではなく、本当に必要なことだけを子どもに与えます。
- 子どもたちへの手助けを最小限にし、大人が見守る中ででのびのびと遊ぶ空間を作ります。
- 子どもたちの模倣の対象であることを意識して生活します。

(2) 日本の四季を感じながら知恵や工夫を生かした丁寧な暮らしを実践します。

- 足りないものを買うのではなく、手間を惜まず、自らの手で生み出す暮らしを楽しみます。
- 溢れる情報やめまぐるしく発売される商品に振り回されず、日本古来からあるものを大切にします。
- 年長者から生活の知恵や工夫、子どもとの関わり方を学びます。

(3) 誰もが尊重され、生きる喜びを感じられる将来になるよう、全力で挑みます。

- ここで働く人たちが幸せであるように努力します。
- 自分の気持ちを素直に伝え、人の意見を否定せず受け入れ、他者と繋がるために努力します。
- 手が足りている人と足りていない人を繋ぎ、互いに助け合えるようにします。

理念

2023年度
事業報告!!

【保育事業】 森のようちえん もりのこえん ～思いっきり外であそぼう～ ●対象：2歳～6歳

雨の日も、寒い日も暑い日も、ずっと外で遊びます。
子どもたちが、自分で気づき、考え、行動する力を育てます。異年齢の仲間で遊びます。
2歳から入園できます。保護者の就労形態は問いません。

新入園児1名を迎え、6名でスタートした2023年度。途中入園はなく、財政的には厳しい一年となった。日々の保育では、「暮らす」ことを意識し、畑仕事や、ヤギの飼育、地域の畑や田んぼの様子を観察したりすることを取り入れた。中でも、もりのこえん初となる、稲の栽培を地域の方の協力のもと行うことができた。小さな小さな田んぼを皆で作り、途中ヤギに食べられたりするも、何とか2合分の米を収穫し、

皆で有難くいただいた。また、コロナも落ち着いたため、電車に乗って海に遠足に行くことができた。3月のひな祭りには、もりのこえんまつりでの繋がりを生かし、地域のお茶の先生に来ていただき、お雛様をみながらお抹茶をいただいた。こうして、地域の年長者から様々な生活の知恵や楽しさを教えていただきながら、上天花で保育できることの有難さを改めて感じる事ができた。

【「外遊びは楽しい！」を広める事業】

「子どもとの外遊びをもっと楽しむための講座～子どもと外遊びを楽しもう～」

～子ども達と外に出る楽しさを知らう～
子ども達に自然の中でわくわくドキドキしながら元気に遊んでほしい！
危険なことや怖いことも隣り合わせの自然。
だからこそ、遊ぶ時のコツや安全への知識を身につけておこう。
年間5回の講座と、視察を実施。延べ60名が参加した。
スタッフ研修もかねて実施。
実習をメインとした内容の回も設け、実際に屋外で活動することで内容への理解が深まった。

- 第1回「救命講習Ⅲ～幼児を対象とした心肺蘇生法、AED取り扱い、止血法など通報に関する講習会～」山口市消防本部指導員
- 第2回「子どもの遊びと育ち～感覚統合の視点から～」もりのこえん 金子恵 氏
- 第3回「ネイチャーゲーム体験入門講座」山口県シェアリングネイチャーの会 松田義政 氏
- 第4回「子どもの野外活動 気をつける視点とリスク」みさかの森自然学校 所長 井上桂 氏
- 第5回「あなたが大事の伝え方」こびとのおうちえん 代表 大下充徳 氏
- 11月 こびとのおうちえん、オルタナティブスクール地球舎 視察

●対象：子育て中の家族・子育て支援者・フィールドワークや野外保育に興味のある人
●時間：10時～12時 ●場所：市内地域交流センター他 ●受講料：1,000円/人 ●託児：500円/人

【自然に親しみ守る事業】

「もりのこえん交流事業～はるなつあきふゆ～」

地域に子どもを育てていただき、大人は地域の担い手として、活躍する。
そんな昔の近所つきあいを再現したような上天花町になるように、若い力を結集します。

- 町内草刈りへの参加 (年2回)
- 錦鶏の滝掃除 (年12回)
- 春祭り・観音祭りへの参加
- つくし推進事業 (年4回)
- 七夕飾りへの協力をお願い
- ブルーサンタプロジェクト (7月)
- 夏まつり (8月)
- もりのこえん実行委員会 (年8回)
- 第3回もりのこえんまつり (11月)

年2回、町内清掃作業へ延28名が参加。年21回の作業日では、卒園児、外部の親子参加、中学生や大学生のボランティアの参加もあり、年間延198名の参加があった。錦鶏の滝や周辺の環境整備だけでなく、作業を通しての交流も深まった。
3年ぶりに開催したもりのこえんまつりでは、当日540名の来場者があった。実行委員会を立ち上げ、一年かけてスタッフ、保護者、地域の方々と共に準備を進めた。その事で地域との繋がりと新しい魅力が生まれた。今後はこのプロセスの中で得た繋がりが、経験や知識を地域の幸せに繋がるものとなるようにしていきたい。

●対象：もりのこえんに関わる全ての人と地域の皆様

【自然の恵みを学ぶ事業】

「暮らしの森舎 みんなde里山体験」

●対象：一般

毎月1回、季節に応じた里山での暮らしの中で行われる農作業や手仕事を体験する事業です。

- 内容；4月タケノコ掘り (雨天中止)
- 5月メンマづくり (参加者が集まらず中止)
- 6月梅もぎと落花生とさつまいも植え
- 7月シャワークライミング
- 8月ゆずこしょうづくりと冬野菜植え
- 10月収穫祭と竹テントづくり
- 11月タマネギ植えと柚子シロップづくり
- 12月クリスマスリースづくり・しめ飾りづくり
- 1月こんにやくづくり
- 2月大根の加工品
- 3月しいたけの駒打ち
- 大地再生講座年間4回

●時間：9時～14時 ●場所：山下さんち ●保険料：300円/人 ●参加費：(昼食代込み) 大人1500円・小学生500円・3歳～未就学児300円・0歳～2歳は保険料のみ

【子どもの育ちを支える事業】

「もりのこえん土曜学校 天花の森舎」

●対象：年長児～小学6年生 「天花の森舎」

●対象：天花の森舎に1年以上参加している小学4年生～中学3年生 「子どもサバイバル12months」

年間24回の本プログラムと3回の親子プログラムを実施。在籍者前期24名、後期22名。2023年度は秋往還を語り部(案内人)なして、大人と子どもが力を合わせて歩き通した。毎年、森のようちえんで実施している鳳山登山を天花の森舎でも実施した。子どもたちの体力に驚かされる一日となった。もりのこえんまつりでは、自分たちで計画し出店をした。来場者にも驚かれるくらい、生き生きと楽しんだ。後期には、自分たちで朝の会からすべて運営するという意欲が見られ、この経験や気持ちを次年度にも生かしていきたい。

山下さんちのフィールドで、ソロキャンプを楽しむ事業。毎月1回年11回実施 (5月は大雨のため中止)。毎回3名～5名の子どもが参加した。昨年度に引き続き、もりのこえんスタッフが運営をした。7月には、下関の深坂自然の森で実施された「ブッシュクラフトテクニック講座」に参加。また、3月には、尾道市の生口島へ計画旅行を実施。8月に予定していた助成金を活用しての募集も申し込みがなく、次年度、通年申し込みの希望者が見込まれないため、2024年度は継続しないこととなったが、中高生の居場所づくりとして、今後単発での活動を計画中。

○開校日：2023/4/8 ○登校日：毎月第2、4土曜日9時～14時
○親子プログラム：5/21(日)・12/17(日)・3/2(土)
○場所：山下さんち他 ○入学金30,000円 年会費3,000円 保険料2,000円 月謝11,000円

○実施日：毎月特定の土曜日14時半～翌日9時 ○場所：山下さんち
○年会費：3,000円 保険料2,000円 ○参加費：8,000円 (通年申し込み)、10,000円 (単発)

活動計算書

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

(単位：円)

科目	金額
【経常収益】	
1.受取会費	59,000
2.受取寄付金	2,311,314
3.受取助成金等	1,446,500
4.事業収益	8,326,859
5.その他収益	106,650
経常収益計	12,250,323
【経常費用】	
1.事業費	
(1) 人件費	6,913,751
(2) その他経費	2,609,088
事業費計	9,522,839
2.管理費	
(1) 人件費	1,485,930
(2) その他経費	159,604
管理費計	1,645,534
経常費用計	11,168,373
当期経常増減額	1,081,950
【経常外費用】	
経常外費用計	0
当期正味財産増減額	1,081,950
前期繰越正味財産額	4,711,320
次期繰越正味財産額	5,793,270

ご寄付のお礼

もりのこえんを応援くださっている皆様へ

いつもご支援をいただきありがとうございます。
2023年(令和5年)度は、174人の個人、18の団体から、総額2,311,314円の寄付金をいただきました。

2023年度は、グッドガバナンス認証、そして認定NPOになった嬉しい一年になりました。しかしながら、主事業である森のようちえんもりのこえんは園児を減らし、各所で園児募集をしてきましたが、2024年度も園児4人のスタートとなり、財政的には大変厳しい状況が続いています。今後、コロナの影響で子どもは増々減っていく状況ではありますが、大切なことを見失わず、一人でも多くの子どもたちが自然の中で自分の力を精一杯発揮する体験ができるよう、力を尽くしていきたいと思っています。

最後になりますが、私たちの活動に対して温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。